

1-1. 事業概要

2019年度は、新潟県村上市で震度6強を記録した6月18日の山形県沖地震のほか、激甚災害指定を受けた風雨災害として、8月26日から28日にかけて発生した「令和元年8月の前線に伴う大雨（令和元年九州北部豪雨）」、9月5日に三浦半島を通過し千葉県に上陸した「令和元年房総半島台風（台風15号）」、10月12日に伊豆半島に上陸した「令和元年東日本台風（台風19号）」等があった。それらのうち、山形県沖地震は人口密集地域での発生ではなかったため、建築物に係る大きな被害はなく、台風15号、19号ではゴルフ練習場のネット支柱、住宅の屋根や外壁等の暴風による被害は発生したものの、むしろ送電鉄塔、電柱、道路、堤防等のインフラに係る被害や、局所的ではあるもののがけ崩れや河川氾濫などに伴う物流の滞りが人々の生活に大きな影響を与えた。

建築物の構造関係技術基準関連については、免震材料認定関連の基準改正（検査データの保管ほか）が2019年9月30日に公布された。施行は2020年4月1日である。そのほか、木質系材料の許容応力度等の追加に係る告示改正はあったものの、大きな技術基準改正はなかった。なお、JSCAも編集協力している「建築物の構造関係技術基準解説書」2015年版発刊から5年が経過する2020年6月頃の発刊を目指した編集委員会が2019年7月29日に開催され、JSCAからは常木会長の代理として小林技術委員会担当理事兼同委員会委員長が出席した。

一方、建築士受験要件の緩和及び4号建築物の構造計算等図書保存義務化等を含む建築士法の一部を改正する法律は2018年12月14日に交付されていたが、2020年3月1日に施行された。受験要件の緩和の内容は、「実務経験が建築士の受験要件から登録要件に変更され、合格後実務経験を積みば登録される」ことであり、4号建築物の構造計算等図書保存義務化等では、「木造建築物の壁量計算、四分割法の計算及びN値計算に係る図書等の保存が新たに建築士事務所に義務付けられた」点に、注意が必要であり、これらの内容は10月31日～11月1日及び2020年3月2日の2度に渡って一斉メールにて会員各位に周知した。4号建築物の構造計算等図書保存に関しては、正会員の約半数を占める構造専門事務所所属会員にとっては特に注意が必要であろう。

以上のほか、2019年度を迎えるにあたって定めた活動方針に従い、担当委員会等において活動を行ってきた。以下では、活動方針の中で重点目標とした事項を中心に活動の概要を報告する。なお、詳細は委員会報告等、別途記載されている場合が多いので、そちらも併せてご覧いただきたい。

1) JSCAの持続的発展に向けた活動と会員の技術力向上

(1) 協会活動の継続性と安定的運営の対策を含む中期ロードマップの作成

- ・30周年記念事業の影響もあり年度後半から検討開始
- ・収支、会員、JSCA建築構造士に関し、3名の副会長が分担担当し、検討を進めた。検討結果で可能な項目等は活動計画に盛り込んだ。

(2) 会員の技術力向上のための講習会・研修会開催

- ・スキルアップセミナーを9月9日の本部における開催を皮切りに名古屋、札幌、広島、大阪、福岡で開催、受講者は合計134名であった。本部開催分に関しては、台風15号が通過した翌日にもかかわらず、申込93名のところ、71名の参加があった。
 - ・構造設計実務者研修基礎編はJSCA東京主催で開催し、受講者は70名であった。
 - ・本部の技術委員会報告会を12月3日（受講者82名）に開催し、東北、関西各支部においてWEB会議システムを活用したWEB講習会を同時開催した。
 - ・その他、JSCA版RC建築構造の設計第2版出版記念講習会ははじめ、本部委員会及び各支部、サテライト主催の講習会、研修会を開催した。
 - ・新型コロナの影響で、技術交流会をはじめ2月以降に予定されていた講習会等の大半は、中止せざるを得なかった。
- (3) 「構造デザイン発表会」など通した本部・支部における中堅・若手会員勧誘活動の強化
- ・構造デザイン発表会が10月18日に東京で開催された。発表は過去最多の95作品であり、参加人数は370名であった。
 - ・シンポジウム構造デザインを東京にて9月10日に開催し、参加人数は47名であった。また、3月19日に予定していた回は新型コロナの影響により延期となった。

2) 建築構造技術者の地位向上へ向けた活動

(1) JSCA建築構造士の優位性と個人の見える化

(2) 受験者数増加に向けたJSCA建築構造士制度の再検討

- ・30周年記念事業の影響もあり、1) (1)に記載した内容以外は特に行わなかった。

(3) 適正な報酬の確保へ向けての支援

- ・本部業務委員会において民法改正に対応した構造設計・監理業務委託契約書の見直しを行った。公共建築協会などの他協会の動きも見つつ、運営会議で内容を確認の上で、時機を見て公開予定である。

3) 木造建築の構造設計技術の普及と向上

(1) 木造の普及展開及び情報提供

- ・技術委員会木質系部会の中に設けたWGにて「JSCA版木造建築構造の設計」の改定原稿をまとめた。2020年度夏ころには改訂版出版の予定である。

(2) 中・大規模木造建築の構造設計に係る情報整備

- ・木質系部会の中に「中・大規模木造建築物の構造設計普及WG」を設け、若手の委員を中心に活動中。
- ・2019年12月16日に地球環境問題委員会主催の「中大規模ビル型建物への木材活用に関する提言」起草に向けてと題するシンポジウムを建築家会館にて開催した。

(3) 木造関連機関・会社との技術交流及び委員会活動等の活性化

- ・建築学会が事務局を務める「低酸素社会推進会議」の提言案に関し、地球環境問題委員会で大規模木造の

採用推進等の追加を提案し採用された。

- ・3月11日に木質系材料等に関する技術交流会が予定されていたが、新型コロナウイルス対策のため、開催は無期限延期となった。
- ・委員会活動の活性化については特段の活動は行えなかった。

4) BIM等を活用したDigital Designへ向けた検討

(1) 構造設計におけるBIM適用の検討

(2) 構造設計の技術革新に取り組む方向性の検討

- ・技術委員会プログラム部会傘下に構造BIM仕様検討WGを設置し、構造BIMデータに係るパラメータの共通仕様の検討を概ね完了した。2020年度前半には成果を公表予定である。
- ・国土交通省により「建築BIM推進会議」が組織され、同会議及び、傘下の「建築BIM環境整備部会」に委員を派遣、他の部会にも求めに応じて委員ないしはオブザーバを派遣し、情報収集に努めるとともに、JSCAで検討中の構造BIM仕様の大筋認知を得た。

5) 法人化30周年記念事業を通じたJSCA活動のアピール

(1) 展示会や講演会を通してJSCA会員が大きな役割を果たした東京オリンピック施設の構造技術についての広報

- ・2019年11月6～8日に建築会館において、標記に関連した展示・講演イベントを開催、好評を得た。
- ・展示・講演イベントの開催に関しては、30周年記念事業特別委員会を中心に、広報委員会、会員委員会、企画・会務委員会等にイベント周知、広報活動に関する協力も得たが、当日はそれら委員会及び東京近郊の支部幹部の応援も得た。

(2) 構造設計の技術革新をテーマにしたシンポジウムの開催

- ・2020年1月17日の賀詞交歓会に先立ち『平成～令和へ新時代を迎える構造技術者の未来』と題したシンポジウムを開催、350席が満席となるほどの参加があった。

6) 第30回JSCA賞

2019年6月18日開催の総会における表彰式に引き続き、総会后、JSCA賞委員長からの応募作品の紹介を含む選考経過報告及び受賞記念講演会が行われた。

- 作品賞 伊藤潤一郎：京都外国語大学 新4号館
- 奨励賞 石田大三：阿南市庁舎
- 奨励賞 原 健一郎：胎内市総合体育館
- 新人賞 山田達也：ヴォーリズ記念アリーナ

1-2. 役員／体制

□役員	
会長	常木康弘（代表理事）
副会長	一條 典（代表理事） 嵐山正樹 横山一智
専務理事	福島正隆（業務執行理事）
常務理事	飯田直彦（業務執行理事）
理事	
本部担当	江尻憲泰 大島嘉彦 菊池正彦 小西泰孝 小林秀雄 塩手博道 篠崎洋三 柴田昭彦 嶋崎敦志 辻 泰一 鳥井信吾 久田基治 渡邊秀幸
支部担当	北海道 渡邊和之 東北 平山浩史 関東甲信越 唐戸弘樹 中部 内本英雄 関西 上田博之 中国 清水保雄 四国 片岡輝久 九州 今林光秀
監事	伊藤 優 近藤一雄 新宮清志
□支部長	各支部担当理事が兼務
□協会顧問	弁護士 服部成太 公認会計士 元森俊雄
□事務局員	職員数4名（うち大阪1名）

1-3. 会員数の推移

年度	正会員	一般会員	学生会員	賛助会員	名誉会員	学術会員	JSCA建築構造士	構造設計一級建築士
00	3618	120		261	29	229	2527	
01	3618	127		249	28	233	2569	
02	3572	133		240	28	237	2561	
03	3551	139		234	25	238	2547	
04	3542	135		235	21	192	2536	
05	3606	147		254	31	186	2531	
06	3816	152		247	30	185	2692	
07	3907	154		241	30	183	2771	
08	3876	156		228	23	178	2696	
09	4000	144		224	25	169	2590	
10	4020	135		227	29	165	2457	※3275
11	3983	131		233	28	163	2249	※3368
12	3925	131	6	230	28	157	2183	※3342
13	3909	129	8	227	26	155	2113	※3355
14	3929	134	7	231	25	151	2030	※3388
15	3910	126	6	235	25	147	1957	※3353
16	3867	122	6	234	29	145	1862	※3342
17	3853	88	10	234	32	143	1785	※3308
18	3803	101	10	237	31	137	1727	※3250
19	3773	111	7	240	34	134	1638	※3205

※構造設計一級建築士証の写しを添付し、本協会に届け出た会員の数である。